

五知交差点信号機設置（国道167号と市道五知線を結ぶ地点）
を求める請願書

令和 7 年 2 月 12 日

志摩市議会議長 中村 孝司 様



紹介議員

氏 名

金子 研 世

氏 名

下村 卓 也

請願者

住 所 三重県志摩市磯部町五知271番地1

氏 名

五知区長 森 本



請 願 書

1 趣 旨

五知交差点信号機設置について、関係機関に対し意見書を願うする請願。

国道167号と、市道五知線から近鉄志摩線五知駅を結ぶ交差点に信号機の設置を願うするものです。

つきましては、関係機関に対し意見書を提出くださいますよう、ここに請願いたします。

2 理 由

五知交差点信号機設置は、当五知区民の積年の最重要課題であり、また願いであり、そして要望事項であります。これまで、三重県・志摩市・（旧磯部町）・交通安全協会など、関係機関、各団体に設置要望を重ねて行ってきました。特に、国道167号磯部バイパス道路改良工事に伴う用地提供に、区内地権者は全面的に協力するとともに、信号機設置は五知区民総意として、強く要望してきました。

近年、志摩地域も観光地として認知され、国道整備と相まって、本地域を訪れる車両（観光バス・普通自動車）のみならず大型貨物車等が急増し、殊に第二伊勢道路の開通後は著しいものがあります。

国道から五知地区（集落）への出入りは、この交差点の市道五知線が唯一の道路であります。この交差点は地理的・構造的に鳥羽方面より急な下り勾配で、剩え意識せずともスピードが出やすく、志摩方面には大きくカーブで見通しがきかない場所です。この国道に市道から進入する場合、走行車両の妨害や衝突事故など重大事故につながるかと、常に危険を掻い潜りながら、車両が頻繁に往来する国道を横断・走行をしており、危険状況と隣り合わせです。

特に高齢運転者や、横断歩道利用者から「冷や冷やしながら出入りしている」「横断歩道は怖い」「何時かは事故が起こるのでは」と多くの声が届いています。

事故の一步手前である「ヒヤリ・ハット」を聴きとった結果、42件の意見が寄せられました。交差点を利用する全てのかげがえのない人命は、事故によって失われることは決して許されません。事故に遭う危険を除去できる唯一の方法は、信号機設置でこの方法以外では防止できないと考えています。

また、五知駅を利用するのは区民のみならず、地区外の生徒（保護者の送迎）や通勤者（駅前に駐車）も多く利用し、地区特有な状況から重要不可欠の公的交通手段であります。

朝夕の通勤通学時は云うまでもなく、休祝日などは車両の往来が多くなり特に危険であると危惧しています。

愈々、おうむ石トンネルが開通となれば、当地区を貫く国道利用車は、本地域住民はもとより、他府県からの来訪車も激増するものと思われ、当地区住民にとっては、懸念に耐えられない次第であります。

道路網の整備は地域の活性化に不可欠の手段であり、所期の目的は達成されてきたと思いますが、政治も行政も、大のために小を置き去りにしたり、況して経済が人命より優先されたりすることなど、あってはならないことです。

何卒、事情ご賢察いただき、ご採択の上、関係機関に対し意見書をあげて頂きますよう、ここに謹んで請願します。